鶏 肉 情 勢

2026/11/11 更新　　全農チキンフーズ㈱

項目		内容
供給	1. 国内	(1) 生産・処理動向調査((一社)日本食鳥協会令和8年10月末時点まとめ)によると、9月の処理出荷推計実績は処理羽数が前年比96.4%、処理重量は同98.2%となった。現時点での10月の予測は処理羽数が前年比96.1%、処理重量が同97.1%の見通しとなった。11月は処理羽数が同98.6%、処理重量が同96.8%。また、12月は処理羽数が同97.2%、処理重量は同96.2%の予測。なお、R8年10月以降の数値は取りまとめ時点の予測値であり、気象条件等の変化によって大きく変動する可能性があるため、今後の動向を注視する必要がある。
	2. 輸入	(1) 財務省の貿易統計によると、令和8年9月の鶏肉(原料肉)の輸入量は前月から▲2.4千㌧の48.0千㌧、国別ではブラジルが前月▲3.3千㌧の33.2千㌧、タイが+1.1千㌧の14.5千㌧となった。 (独)農畜産業振興機構(ALIC)による今後の輸入量見通しでは、10月は54.8千㌧(前年比95.6%)、11月は48.8千㌧(同113.2%)とされ、10月は減少する予測だが、11月は増加する予測である。要因としては、「輸入量は、主要輸入先のブラジルの前年の輸入量が比較的高水準だったこと等から、10月は前年同月をやや下回る一方、11月は、前年のブラジル産の輸入量が高病原性鳥インフルエンザ等の影響により低水準であったことや、最近の現地での生産が堅調であること等から、前年同月をかなり大きく上回ると予測する。なお、3カ月平均では、前年同期をやや下回ると予測する。」とされている。 (2) 令和8年9月の鶏肉調製品の輸入量は前月から▲2.9千㌧の47.6千㌧、国別では中国が▲0.1千㌧の21.6千㌧、タイが▲2.6千㌧の24.8千㌧となった。 (3) ㈱食品産業新聞社発行の畜産日報によると、9月の輸入鶏肉(モモ肉)の価格はブラジル産で540円/kgから580円/kg(前年450円/kg)、タイ産が600円/kg中心(同500円/kg)となっている。要因としては「ブラジルBLは先物のオファー数量が少なく、在庫を確保するべく需給は引き締まっている。米国産レッグも高唱えが継続している。」と報告されている。
需要	1. 家計消費	(1) 総務省統計局発表の家計調査報告(全国・二人以上の世帯1世帯あたり)によると、令和8年9月の生鮮肉消費(購入)は数量4,092g(前年比100.7%)、金額6,960円(同106.8%)と、数量・金額ともに前年を上回った。鶏肉は数量1,480g(同102.7%)・金額1,712円(同107.1%)・単価115.68円/100g(前年同月差+4.8円)と数量・金額・単価ともに前年を上回った。牛肉は数量は前年を下回ったものの、金額は前年を上回った。豚肉は数量・金額ともに前年を上回った。
	2. 量販・卸	(1) 一般社団法人全国スーパーマーケット協会の販売統計調査によると、令和8年9月の食品売上高は全店ベースで前年比102.0%と前年を上回り、生鮮3部門の売上高は全店ベースで同103.9%、既存店ベースは同102.3%。畜産部門の売上高は約1,322億円で全店ベース同107.0%、既存店ベース同105.2%となった。 また同社が取りまとめたスーパーマーケット景気動向調査によると、「畜産は、値ごろ感のある豚肉、鶏肉、挽肉を中心に、好調に推移した。前年より気温が低めとなった地域では、鍋や煮込み、炒め物などホットメニュー需要が高まり、豚肉の薄切り・しゃぶしゃぶ用や鶏肉などが好調だった。牛肉は相場高が続き、高価格帯の商品を中心に伸び悩みが継続。一方で豚肉・鶏肉や輸入肉など比較的値頃な商品に需要が向かう傾向がみられた。加工肉は、値上げの影響からハム、ベーコン、ソーセージなどで販売数量の減少を指摘する声がみられた。」と報告されている。
	3. 業務・加工筋	(1) 日本ハム・ソーセージ工業協同組合調べによると令和8年9月度の鶏肉加工品仕向肉量は、前年比90.3%の4.4千㌧となった。うち国内品は同93.6%の3.5千㌧、輸入品については同79.7%の0.9千㌧と輸入品・国内品ともに前年を下回る結果となった。
在庫	1. 令和8年9月	(1) (独)農畜産業振興機構(ALIC)の9月末時点推定期末在庫では国産品34.3千㌧(前年比101.3%)、輸入品134.5千㌧(同103.3%)、合計で168.9千㌧(同102.9%)となった。
	2. 見通し	(1) (独)農畜産業振興機構(ALIC)が発表した鶏肉需給表では、9月の出回り量は国産品139.1千㌧(前年比98.4%)、輸入品51.2千㌧(同94.4%)、合計190.3千㌧(同97.3%)となり、前年からは国産品・輸入品ともに減少した。 今後10月以降の見通しは、「出回り量は、10月は前年同月をわずかに下回る一方、11月は前年同月をやや上回ると予測する。期末在庫は10月、11月ともに前年同月をわずかに上回ると予測する。なお、過去5カ年の同月平均との比較でも、10月はやや、11月はわずかに、いずれも上回る(10月:4.3%増、11月:2.0%増)と予測する。」とされている。
相場	1. 令和8年10月動向	(1) 令和8年10月の月平均相場は、モモ肉843円/kg(前月差+22円)・ムネ肉459円/kg(同▲2円)正肉合計で1,302円/2kgと前月差+20円、前年同月差+14円となった。㈱食品産業新聞社発行の畜産日報によると、「国産モモ正肉は生産品を中心に堅調な荷動きが続いている。気温の低下に伴い生産も順調だが、需給は締まっており、12月に向けて強含む可能性が高い。生鮮物の荷動きが好調なため、凍結品はさらにタイトにある。ムネ正肉の動きは一服感があるものの、止まっているわけではなく、相場も横ばいで推移しており、副産物は手羽元を中心に小確りしている。輸入品は強気配。」と報告されている。
	2. 見通し	(1) 11月の国内鶏肉生産は、処理羽数・処理重量ともに前年を若干下回る見通しとなった。酷暑による生鳥体重低下の影響が一部地域で残っているものの、現時点では大幅な供給不足には至っていない。一方国内需要は、年末を見据えた在庫確保・集荷の動きが活発化している。 特に国産モモ肉については外気温の低下とともに生鮮品の需要が堅調に推移しており、年末に向けての冷凍品確保の動きが一段と強まる可能性もある。また、ブラジル産モモ肉は、輸入量および価格の変動が大きく、価格面を含め、安定的な調達が難しい状況となっている。量販店においてはブラジル産モモ肉と国産モモ肉の売り場での競合が強まる中、今後のブラジル産モモ肉の動向は注視が必要である。 国産ムネ肉については、あらゆる商品の価格が上昇する中、量販店での販促対応や健康志向に下支えされた需要がある一方、産肉量の増加に伴い、需給には余剰感が出てきている。また、加工原料を国産ムネ肉から輸入モモ肉に変更する商材も一部見られ、今後の国産ムネ肉の需給動向にも注視が必要な状況である。 以上を踏まえ、11月の月平均相場は、国産鶏モモ肉845円/kg前後、国産鶏ムネ肉455円/kg前後で推移すると予測する。

実　績

生産状況　　単位:千羽、千トン、%

	R7年累計(推計)		R8年9月実績(推計)		R8年10月計画		R8年11月計画		R8年12月計画	
	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比
入雛羽数	805,066	101.4%	64,280	97.3%						
処理羽数	763,029	101.6%	60,775	96.4%	62,917	96.1%	60,084	98.6%	65,811	97.2%
処理重量	2,299.0	101.1%	183.6	98.2%	191.3	97.1%	182.6	96.8%	200.9	96.2%

※参考資料:㈱全国食鳥新聞社発行「PMN」

輸入動向　　単位:千トン、%

品名	鶏肉			調製品			合計			比率	
履歴	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	鶏肉	調製品
R6年累計	639.2	584.9	109.3	503.2	478.0	105.3	1,142.4	1,062.9	107.5	56.0	44.0
R7年累計	591.5	639.2	92.5	529.8	503.2	105.3	1,121.3	1,142.4	98.2	52.8	47.2
R8年5月	50.9	48.5	104.9	43.3	43.3	100.0	94.2	91.8	102.6	54.1	45.9
R8年6月	55.9	51.6	108.4	53.3	44.0	121.1	109.2	95.6	114.2	51.2	48.8
R8年7月	58.5	48.2	121.2	56.8	50.0	113.6	115.3	98.3	117.3	50.7	49.3
R8年8月	50.4	49.6	101.7	50.5	41.5	121.8	100.9	91.1	110.8	50.0	50.0
R8年9月	48.0	57.8	83.0	47.6	45.0	105.7	95.5	102.8	93.0	50.2	49.8

※参考資料:(独)農畜産業振興機構「鶏肉需給表」

鶏肉の消費動向　　単位:グラム、円、%

履歴	数量			金額		
	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比
R6年平均	1,552	1,495	103.8	1,586	1,547	102.5
R7年平均	1,555	1,552	100.2	1,682	1,586	106.0
R8年5月	1,520	1,564	97.2	1,756	1,664	105.5
R8年6月	1,499	1,458	102.8	1,724	1,572	109.7
R8年7月	1,476	1,436	102.8	1,657	1,538	107.7
R8年8月	1,454	1,449	100.3	1,660	1,575	105.4
R8年9月	1,480	1,441	102.7	1,712	1,599	107.1

※参考資料:総務省統計局HP　家計調査報告(全国・二人以上の世帯1世帯あたり)

相場(年別・暦年)　　単位:円

	モモ肉	ムネ肉	計
H30年	595	282	877
R元年	585	243	828
R2年	614	269	883
R3年	641	313	954
R4年	662	348	1,010
R5年	730	395	1,125
R6年	655	369	1,024
R7年	774	500	1,274

在庫状況(推定)　　単位:千トン、%

履歴	国産			輸入品			合計		
	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比
R8年5月	36.1	27.0	133.8	122.2	128.2	95.4	158.3	155.2	102.1
R8年6月	35.2	29.8	118.2	126.3	128.8	98.1	161.5	158.6	101.9
R8年7月	34.0	31.3	108.7	131.7	124.1	106.1	165.7	155.4	106.6
R8年8月	33.6	33.2	101.4	137.8	126.7	108.7	171.4	159.9	107.2
R8年9月	34.3	33.9	101.3	134.5	130.3	103.3	168.9	164.1	102.9

※参考資料:(独)農畜産業振興機構「鶏肉需給表」

出回り量(推定)　　単位:千トン、%

履歴	国産			輸入品			合計		
	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比
R6年累計	1,721.2	1,689.0	101.9	619.9	606.3	102.2	2,341.1	2,295.4	102.0
R7年累計	1,725.4	1,721.2	100.2	614.8	619.9	99.2	2,340.2	2,341.1	100.0
R8年5月	146.2	143.9	101.7	41.9	47.8	87.7	188.2	191.6	98.2
R8年6月	146.3	138.4	105.7	51.8	50.9	101.7	198.1	189.3	104.6
R8年7月	142.1	140.9	100.8	53.9	53.0	101.7	195.9	193.9	101.1
R8年8月	137.0	135.7	100.9	44.3	47.0	94.3	181.3	182.7	99.2
R8年9月	139.1	141.4	98.4	51.2	54.2	94.4	190.3	195.6	97.3

※参考資料:(独)農畜産業振興機構「鶏肉需給表」

相場(月別)　　単位:円、%

品名	モモ肉			ムネ肉			正肉合計		
履歴	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比
R5年度平均	700	702	99.7	384	371	103.5	1,084	1,073	101.0
R6年平均	655	730	89.7	369	395	93.4	1,024	1,125	91.0
R7年平均	774	655	118.2	500	369	135.5	1,274	1,024	124.4
R8年7月	823	803	102.5	469	555	84.5	1,292	1,358	95.1
R8年8月	819	778	105.3	463	568	81.5	1,282	1,346	95.2
R8年9月	821	757	108.5	461	573	80.5	1,282	1,330	96.4
R8年10月	843	731	115.3	459	557	82.4	1,302	1,288	101.1
R8年11月	(845)	736	114.8	(455)	545	83.5	(1,300)	1,281	101.5
R8年12月	(875)	777	112.6	(455)	539	84.4	(1,330)	1,316	101.1

※()は見通し